

## エネルギーギャップと放出されるフォトン



































## 多電子原子の電子状態:3d電子と4s電子

## 4) 構成原理

a)構成原理とは、多電子原子のオービタルにどの ように電子が埋められていくかを記述する.

b) 3d軌道に比べて4s軌道のエネルギーがわずか に低いため、3dよりも4sに優先的に電子が入る.

1s<2s<2p<3s<3p<4s<3d<4p<5s<4d<5p<6s

c) 電子は副殻のどれか1つを2重に占める前に、ま ず異なるオービタルを占める.

d) かつ、基底状態ある電子原子では、不対電子が できるだけ多くなるような配置をとる(右図). → "Hundの規則"

e) エネルギーが等しく、しかも同じスピン状態を有 する複数の電子は、互いに空間的に離れたオービタ ルを占めようとする → "スピン相関"に関連





W.E.Pauli F.Hund

Shinji ANDO, Dept. Materials Science

Tokyo Institute of Technology



